

第4回議会制度調査特別委員会 要点記録

開閉会日時	令和3年7月28日(水曜日)			開会	9:58	会議場所	別海町議会 委員会室2・3		
				閉会	11:45				
議員の出欠	7 番	木嶋 悦寛	出席	10 番	小林 敏之	出席	13 番	中村 忠士	出席
	8 番	松壽 孝雄	出席	11 番	瀧川 榮子	欠席	14 番	佐藤 初雄	出席
	9 番	今西 和雄	出席	12 番	松原 政勝	出席	15 番	戸田 憲悦	出席
委員外の出席	議長		西原 浩				合計	1名	
事務局職員	事務局長		小島 実	主幹		入田 浩明	合計	2名	
傍聴者数	一般		0名	議会モニター		0名	議会サポーター	0名	
	報道関係者		0名				合計	0名	

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
	通年議会制度について（根室市議会オンライン研修） 9:58 開会・挨拶 根室市議会事務局 斎藤 挨拶 根室市議会議長 本田 挨拶 議長 西原 挨拶 根室市議会事務局 斎藤 通年議会制度について 根室市議会事務局長 石橋 資料により内容説明 根室市議会事務局 斎藤 通年議会制度についての事前質問について 根室市議会議長 本田 事前質問に基づき、回答（別紙のとおり） 根室市議会事務局 斎藤 質疑応答 委員 7番 木嶋 - 導入に係る検討の中で、2つの小委員会が設置され89回にわたって議論されたということで、非常に興味のある深い部分かなと思う。 - 議会と市民との関係というところの小委員会の中で、実際に市民との対話がどの程度行われたのか。 2つの委員会の構成メンバーはどういう方が構成メンバーになっていたのか。 根室市議会議長 本田 - 構成メンバーに関しては、特別委員会のメンバーを2つに分けた。 - 市民と議論したわけではなく、支持者から言われていることや議会の問題点を洗い出して、ある程度成形し、議会改革や市民参加型の議会を作りたいということを市民説明会を開いてというようなスタイルで実施した。 - 通年議会になる前と後では、委員会活動がどのように活発化したのか。 - 行政からの情報の提供や文書質問等の活用による行政とのやりとりの増加について、もう少し詳細に説明が聞きたい。 - 通年議会導入後について、市民の反応は薄いという評価をしているが、そうなった原因は何なのかわかれば教えていただきたい。 根室市議会議長 本田 - もともと常任委員会の活動は、会期中の活動がメインで審議・審査も一緒になるためなかなか活動できなかったが、通年議会になるといつでも委員会を開けることで、継続して議論できるようになった。 - 委員会中心主義になることにより、委員会で関係団体に出向き調査等を行いながら、それを議会運営に反映させるスタイルで、様々な課題について市民と直接向き合うことで課題共有や課題解決につながるようになった。 - 年4回の定例月会を開催しているが、定例月の間で問題が発生した場合や、答弁等にもう一步踏み込んだ回答がほしいという時に、一般質問と同様に文書で理事者に通知し、回答いただいている。 - 根室市の運用方法であれば、市民はあまり変わったような感じは受けない。 - アピールが足りないのも事実だが、委員会活動をもっと活発にして、市民と向き合わなければ、市民からすると何も変わってないと思われる。 - 一時不再議への対応について、事例はあるのか。 - 専決処分できる事項について指定しているが、実際根室市において専決処分している 議長 西原

第4回議会制度調査特別委員会 要点記録

	内容はどうなものがあるのか。 開会議会ではどのようなことを行うのか、また、閉会議会がないように思えるが、期間がきたら自然と閉会となるのか。
根室市議会議長 本田	・一時不再議についての事例はない。
	次の定例会には提出できることとしている。 専決処分については、基本的には契約関係や損害賠償等の一般的な内容。 最後の定例会に宣言はしますが、何もなければ期間がきたら閉会になる。 開会議会の内容については、会期の決定がメインとなる。
根室市議会事務局 斎藤	・他に質問は。
	なければ終了したい。
委員長 14番 佐藤	閉会挨拶
根室市議会事務局 斎藤	11:45 閉会